

〔今〕〔ニ〕〔そ〕〔子〕〔牛〕〔価〕〔格〕〔の〕〔安〕〔定〕

〔と〕〔生〕〔産〕〔体〕〔制〕〔の〕〔確〕〔立〕〔を〕

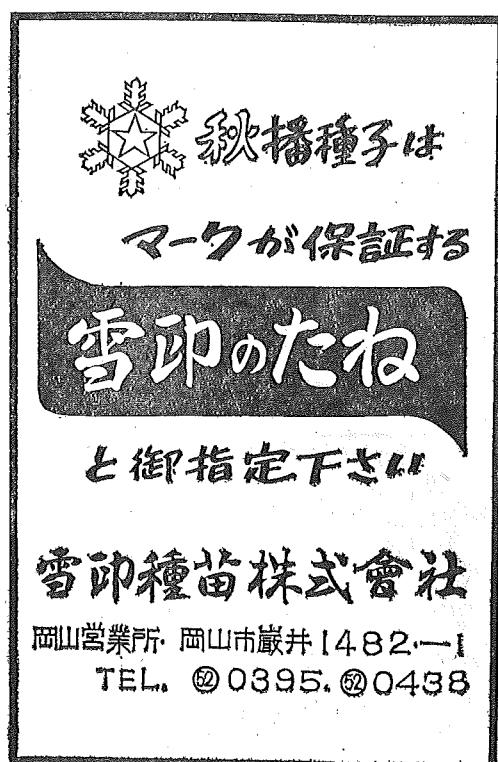
## 岡山県経済連

暑い夏でございました。お変わりなく日夜ご奮斗のことと拝察申上げております。

秋ともなり、豊作の稔と共に、祭大鼓にさそわれながら恒例の共進会シーズンを迎えました。毎年々々繰返す行事ではあります。今年は殊のほか、畜産界におきましては大改革、転換の意義深い年であります。感概一入でございます。

ご承知のとおり、今日ほど畜産が世論をわかし、政府をはじめ各方面に大きな問題をなげかけたことは、未だかつてないと存じます。新制度下の乳価問題、豚肉価格の低迷（保償安定価格より）、鶏卵価格の急落上高の繰返し（本年八月十九日全国鶏卵安定基金の発足）牛肉不足による和牛子牛の史上最高の高値を招くと共に、食肉需要対策として牛肉一万吨の輸入を

高い素牛を導入し、生産された子牛を販売する時、再び価格が低落するようでは増産意欲はありません。そこで世論の高揚と当局の理解により、明四十二年度実施を目途に、子牛価格安定政策、予算獲得の運動を全国和牛協会（会長は本県出身の小枝一雄先生）を中心に、各種団体が懸命の運動を展開しております。



## 忠雄 宅三常務理事

畜産農家の皆さん、たいへん暑い夏でございました。お変わりなく日夜ご奮斗のことと拝察申上げております。

秋ともなり、豊作の稔と共に、祭大鼓にさそわれながら恒例の共進会シーズンを迎えるました。毎年々々繰返す行事ではあります。今年は殊のほか、畜産界におきましては大改革、転換の意義深い年であります。感概一入でございます。

ご承知のとおり、今日ほど畜産が世論をわかし、政府をはじめ各方面に大きな問題をなげかけたことは、未だかつてないと存じます。新制度下の乳価問題、豚肉価格の低迷（保償安定価格より）、鶏卵価格の急落上高の繰返し（本年八月十九日全国鶏卵安定基金の発足）牛肉不足による和牛子牛の史上最高の高値を招くと共に、食肉需要対策として牛肉一万吨の輸入を

畜産農家の皆さん、たいへん暑い夏でございました。お変わりなく日夜ご奮斗のことと拝察申上げております。

秋ともなり、豊作の稔と共に、祭大鼓にさそわれながら恒例の共進会シーズンを迎えるました。毎年々々繰返す行事ではあります。今年は殊のほか、畜産界におきましては大改革、転換の意義深い年であります。感概一入でございます。

ご承知のとおり、今日ほど畜産が世論をわかし、政府をはじめ各方面に大きな問題をなげかけたことは、未だかつてないと存じます。新制度下の乳価問題、豚肉価格の低迷（保償安定価格より）、鶏卵価格の急落上高の繰返し（本年八月十九日全国鶏卵安定基金の発足）牛肉不足による和牛子牛の史上最高の高値を招くと共に、食肉需要対策として牛肉一万吨の輸入を

畜産農家の皆さん、たいへん暑い夏でございました。お変わりなく日夜ご奮斗のことと拝察申上げております。

秋ともなり、豊作の稔と共に、祭大鼓にさそわれながら恒例の共進会シーズンを迎えるました。毎年々々繰返す行事ではあります。今年は殊のほか、畜産界におきましては大改革、転換の意義深い年であります。感概一入でございます。

ご承知のとおり、今日ほど畜産が世論をわかし、政府をはじめ各方面に大きな問題をなげかけたことは、未だかつてないと存じます。新制度下の乳価問題、豚肉価格の低迷（保償安定価格より）、鶏卵価格の急落上高の繰返し（本年八月十九日全国鶏卵安定基金の発足）牛肉不足による和牛子牛の史上最高の高値を招くと共に、食肉需要対策として牛肉一万吨の輸入を

## 十月号目次

今こそ子牛価格の安定と生産体制の確立を

三宅 忠雄

第一回和牛全共の出品牛決る

2

飼料分析検査結果の告示

4

鶏卵価格安定基金の発足

6

日野水先生のアルペン

9

酪農を聞いて

7

試験場だより

11

鶏の強制換羽

13

放牧による若令

17

去勢牛の育成と肥育

19

和牛を中心とした和牛の真価

20

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

21

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

22

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

23

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

24

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

25

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

26

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

27

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

28

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

29

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

30

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

31

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

32

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

33

和牛の不足は極度に達し、子

肉を中心とした和牛の真価

## 全共の精牛揃う

### 2. 育種高等登録区

出 品 番 号	産 次	名 号	生 年	血 統		産 地	出 品 人		会 員	
				登 錄 番 号	月 日		父	母		
434	母	ひなだ 黒高 553	28. 6. 1	藤山	黒 1431	おほとく 本黒 11254	新見 菅生	新見・菅生	磯田 一昭	46688
435	1	第一きよひめ 黒 321035	30. 8. 1	第一藤山	黒 4442	"	"・新見	上田 芳夫	47397	
436	2	第二きよひめ 黒 373725	31. 9. 4	"	"	"	"・菅生	吉岡 武夫	12254	

### 3. 増体記録区

出 品 番 号	各 号	生 年	血 統		産 地	去 勢	出 品 人		会 員	
			登 錄 番 号	月 日			父	母		
544	智	65横津1210	42. 3. 26	池文八 黒 8137	よしふじ 黒623091	久米・中央	40. 7. 1	赤磐・赤坂	川淵 一彦	66762
551	政治	65横津1542	40. 3. 15	中 昭 黒高 159	もり三 黒661365	苦田・加茂	40. 7. 10	勝田・勝北	井堀 正士	43514
580	松 川	65横津 683	40. 3. 19	第五大政 黒高 158	みきさか 黒476922	久米・久米	40. 7. 2	久米・樋原	下原亀太郎	60617

### 4. 去勢肉牛区

出 品 番 号	名 号	生 年	血 統		産 地	年 月 日	出 品 人		会 員	
			登 錄 番 号	月 日			父	母		
682	田 中	65横真 60	39. 11. 20	第二富能 黒 7979	かみたけ 黒320968	真庭・久世	40. 3. 10	赤磐・山陽	安井 広	12844
684	博 愛	65横津 110	39. 10. 25	第五大政 黒高 158	はなやま 黒475935	久米・久米	40. 2. 20	久米・中央	大倉 三郎	51302
688	西 勇	64横高 1257	39. 10. 16	第五藤良六 黒 7917	ばんぎ 黒470103	川上・成羽	40. 1. 10	総社・総社	真賀理唯一	6974
689	安 延二	64横高 1412	39. 10. 28	学 二 黒 0940	まんかわ 黒594971	上房・賀陽	40. 2. 6	吉備・高松	坂田七五三男	66705

### 5. 産肉能力検定区

出 品 番 号	名 号	生 年	血 統		産 地	去 勢	出 品 人		備 考	
			登 錄 番 号	月 日			父	母		
804 の 1	山 中	65横真 574	40. 4. 3	第二明石 黒高 131	第二よこぎ 黒 642.424	真庭・落合	40. 7. 10	阿哲・大佐	岡山県和牛 試験場	
の 2	第三吉原	" 708	" 3. 30	"	いしはら二 " 273.689	"	"	"	"	
の 3	大 一	" 469	" 3. 20	"	第六やまみ " 656.746	"	"	"	"	
の 4	栄 三	" 577	" 3. 18	"	やはぎ一 " 501.316	"	"	"	"	
の 5	曾 根 三	" 566	" 3. 18	"	たかよし " 555.610	"	"	"	"	

### 6. 参考出品牛

出 品 番 号	性	名 号	生 年	血 統		産 地	出 品 人		会 員
				登 錄 番 号	月 日		父	母	
	牡	第十一松田	39. 11. 1	千代田 黒高 78	たわづる五 黒育 154	阿哲・神郷	阿哲・哲西	沖田 洋美	-
	"	柏 鵬	36. 6. 8	第二十一国生	第一みづかみ 黒 5593	阿哲・神郷	津山・横山	平井 典夫	
	"	第一猛	39. 4. 30	仙 隆 黒 7412	みつえ 黒436819	真庭・湯原	阿哲・大佐	和牛試験場	

本誌九月号で詳細をお知らせいたしましたとおり、第一回全国和牛産肉能力共進会の開会を目前にして、関係者一同着々と準備を進めております。会場設備の建設もすでに業者と話し合い、県総合グラウンドで九月末から着工、十月に完工をめざして各県のよりすぐりの出品牛を待受けの体制は整っています。

さて、この和牛界にとってたいへん意義のある第一回全共の映ある出品牛の選定については、京都の全国和牛登録協会本部で進めておりましたが、九月十二日発表になりましたので、誌上でお知らせいたします。

県別表でおわかりのように、岡山県は一〇〇頭のうち二三頭も占めております。これは、それだけ本県が全く熱を入れている証拠でしょう。今から本県の精銳連の、共進会での活躍が期待されます。なお、参考牛としては、遠く、大分、宮崎、鹿児島からも出品がありますので、ぜひとも読者諸兄のご観覧をお奨めいたします。

全共出品牛県別表

区 分		京 都	兵 庫	鳥 取	島 根	岡 山	広 島	山 口	計
種 牛	若 牛 区	雄		2	4	1	4	3	15
	育種高等登録区	雌		3	3	2	4	2	18
肉 牛	増 体 記 録 区		3	3	3	3	3	3	18
	去 勢 肉 牛 区			1		1	4	2	5
	産 肉 能 力 検 定 区		5	5	5	5	5	5	30
計			15	15	13	23	15	19	100

全国和牛産肉能力共進会岡山県出品牛名簿

#### 1. 若牛区

出 品 番 号	性	名 号	生 年	血 統		産 地	出 品 人		会 員	
		登 錄 番 号	月 日	父	母	住 所	氏 名			
49	牡	夏 山	40. 6. 2	新 沢 黒 8284	みそか 黒 742919	真庭 湯原	総社・久代	山本 誠	25077	
51	"	沢 福	40. 5. 15	幹 福 一 黒 113	さわえ 黒 395956	"	"	勝田・勝田	里見 義雄	1859
53	"	第四日ノ出	40. 5. 10	第三吉花 黒高 98	第四ひでを 黒 609615	阿哲 神郷	新見・高尾	中村 輝男	58610	
60	"	第十九横氏	40. 3. 8	第六十八岡光 黒 7761	第九よこうじ 黒 116604	" 哲多	阿哲・哲西	沖田 洋美	982	
210	牝	ながさわ	40. 6. 10	新 沢 黒 8284	ながひろ 黒 671311	真庭 川上	真庭・落合	中杉 茂	59458	
227	"	いつこ	40. 2. 10	仙 隆 黒 7412	もりもと 黒 115611	" 中和	"	真庭 嘉一	5214	
228	"	さくら	40. 2. 8	新 愛 黒 8439	あきら 黒 589619	" 湯原	"	村松 久也	66994	
229	"	くにこ	40. 1. 20	大 安 黒 7940	くにこ 黒 723807	新見 草間	吉備・足守	萱野 武	65009	

岡山県告示第461号で昭和40年11月41年2~3月  
参考のために掲載いたします。

収去分の流通飼料分析検査が公表されたので

吉備郡高松町  
高松製麦株式会社  
広島県深安郡神刃町  
陽和製粉株式会社  
岡山市上伊福二八一  
三和精麦株式会社  
岡山県倉敷市水島海  
日本興業株式会社  
マルベニ印産卵用ペ  
貯敷市浜町六五五  
貯敷米肥株式会社  
兵庫県尼崎市波江字  
協肥糧株式会社  
魚粉混合動物性たん  
動物植物性蛋白質飼料  
非登録飼料を、  
検査結果(金  
また粗りの  
注 三 成分検査の

**注三** 飼料を、空白は、それら以外の飼料を示す。  
検査結果の成分検査の欄中上段は、登録飼料にあつては保証成分量を、成分等表示票および任意の成分票を附した飼料にあつては表示成分量を示し、また、粗たん白質の欄は「以上」を示し、「粗脂肪」の欄は「以上」を示し、「粗纖維および粗灰分」の欄は「以下」を示し、下段は分析結果を示す。  
**注二** 成分検査の欄の空白のものは、異物検査のみを行なつたものである。

# 鶏卵価格安定基金の発足

卷之三

昭和三十九年六月から昭和四十年七月までの約一カ年にわたる低羽価は、養鶏史上はじまして以来といわれるほどの大暴落となつたのは周知のとおりであります。が、これを契機として数ヶ所の地方団体では、鶏卵の価格安定制度を発足させたのである。しかし長期間の低迷と原資の不足から運営を中途で放棄した団体が多くた。これらの考え方を基礎として、昨年八月に全国販売農業協同組合連合会が中心となり、卵価安定基金を発足させようとしたところ、基金が寄付金等で構成されているため、課税対象となるとの大蔵省の見解から、当初の資本構成を大幅に縮少、全販連のみの出資による安定基金を発足させたのである。この間、全販連など系統農協はもとより養鶏家が一体となり、組織的な機構のもとに卵価を安定に取り組むため、農林省に予算措置を働きかけた結果、畜産振興事業団を通じて本年度予算から二億円を出資することになった。

道府県（岡山県分担金八〇〇万円）、生産者団体（岡山県経済連分担金一二〇万円）が二億円を出資し、合計六億円の基金で発足するが、この課税については農林省と大蔵省との間で、既に事前了解がついているため、免税措置がとられることになっている。したがって官民出资構成による卵価格安定基金は全販連が設置、発足させた基金を発展的に解消し、これを土台に新しくスタートすることになつた。

金設立総会が開催され、定款、業務方法書が決定された。それによると一ヶ月十二月の期間中に基金が毎年きめる規準価格（本年はKg当り一六〇円の予定）を割った場合販売価格（卸し売り価格）との差額分を生産者に補てんしようとするものであるが、基金は毎年度事業開始前に全販連と三ヶ年の基本契約と毎年度の年次契約の締結を行ない、全販連はここに県連と、県連は単協と、単協は常時一〇〇羽以上の採卵鶏飼育者と全量委託販売契

級を行なうものである。製糸の対象とな  
る鶏卵は規格取り引きで販売された一級  
品以上を原則とするが、当面は同等品質

約一七二円とし、生産者団体も毎年負担する。この場合、三年の基本契約期間が満了した時において補てん積立金の残額が、この期間に納入された補てん積立金の三分の一をこえるときは、こえた部分の額を三年間継続して契約した会員に対し無事戻しを行なう。

また補てん金が補てん準備金をとりくずしても不足する場合は、基金を担保として借り入れを行ない、年度内支払いを続ける。(本年度最高限度額五億円)。

さらに、この基金は契約会員が畜産物の価格安定等に関する法律第六条第四項の規定による鶏卵の調整保管を行なう場合には、会員の申込に基づいて調整保管による損失の補てんおよび利益の受け入れに関する契約も締結することになつてい

入について前年に検討を加え計画を作成し、この計画にしたがって生産出荷を指導し、卵価の安定について自主的、組織的措置を講ずることになった。

の（一）

の牛で一〇〇キロの  
クサはくうものである。刈取った草には  
枯れた草もはいっているが、放牧の場合  
は青い栄養のあるものしかくわないので  
料を差引いても一斗五升程度（二八、一  
三キロ）の牛乳は濃厚飼料を殆んどやら  
なくとも出るので、放牧の有利なことが  
わかる。

東京、大阪等には粕餉農が行われてい  
るが、この地帯では一頭一月に一万円の  
エサ代をかける。一日にすれば三四〇円  
になり、一キロの乳を出すのに二〇~二  
五円をかけており、極端なのはキロ当たり  
三〇円近くをかけている。乳価キロ四〇  
円以上（年平均）でないと引きあわない。  
都市から離れたところではこんなまね  
はできない。広い草地で放牧して飼えば  
一日一頭一斗以上搾れる。一キロ当たりの  
牛乳を五円以下で搾る。全国平均では一  
キロ当たり一五~二〇円をかけているから  
放牧では三分の一以下で搾れる。キロ三  
五円の乳価で生産費が二〇円であれば一  
五円の利益がある。現在の酪農家がも  
うからぬのは、酪農民の目のつけどころ  
がおかしいのではないか。

ア  
ル  
ペ  
ン  
酪  
農  
の  
生  
田  
野  
水  
先  
生  
の  
農  
業  
を  
聞  
い  
て

常勤畜産  
コンサルタンクト

つ放牧

粗飼料は体重の一割やらなければならぬといわれるが、牧草を刈取つて与えると体重の一割~一・五割しかくわなない。五〇〇キロの体重の牛では五〇~六〇キロである。放牧した場合は体重の二分の一をすやすやすとする。後者が有利であり、やりがいがあるといえる。未開発の山林原野を開墾しての酪農経営には発展性がある。

学部を卒業後、農林省輸入食糧課長統計調査部調査課長を歴任、二十六年自ら退官と同時に山梨県八ヶ岳開拓地に入植、酪農の自宮、この間スイスに一ヶ年留学という珍しい経歴の持主である。この日野水先生を、岡山県、県農業会議、県農業構造改善經營管理指導協議会、県農業經營指導者協会、県酪農農業協同組合連合会、高梁地区酪農振興協議会、高梁地方農業振興協議会共催の酪農講演会に講師として招き、八月二十五日高梁市公民館で講演が行なわれた。特にこれから酪農として、意義がありおもしろいものがあるので、県下の酪農家の皆さんにその要旨をお伝えする次第であ

農本立国十五年  
農業者として十五年  
年、現在十六頭の乳牛を飼養しているが、農業を実際にやってみて農業のむつかしさを知った。サラリーマン時代は本らしいものを読まなくて済まるが、農業者は本を読まずには經營はできない。それだけ農業は簡単なものでなく、深みのあるものである。酪農家は常に一年生の考え方で「初心忘るべからず」でいてこそ進歩がある。

牛乳を五円以下で搾る。全国平均では一キロ当たりの牛乳を五円以下で搾れる。一キロ当たりの牛乳を五円以下で搾る。全国平均では一キロ当たり一五〇円をかけているから放牧では三分の一以下で搾れる。キロ三五円の価値で生産費が二〇円であれば一五円の利益がある。現在の酪農家がもうからぬのは、酪農民の目のつけどころがおかしいのではない。

現在では、この基金の鶏卵取扱い団体は全販連のみとなつてゐるため、日本飼料工場会は農協系統による鶏卵の扱い量は全体の三〇%強程度の占有率しかないので、眞の卵価安定対策とならないとして、全国鶏卵販売農業協同組合連合会

スイスは北緯四七度線で緯度が低くて春がおそく、冬が早い地帯である。またデンマークは世界での酪農国であるが、六月二十日に一番草を刈る。日本では一度牛を放牧した草地には、少くとも二四日間牛を入れないで牧野を休ます。日本では二四日も休むと草は伸び過ぎてしまう。日本の草はヨーロッパに比較すると二倍の早さで伸びる。スイスは三〇〇メートルの高山まで草地が開かれ、樹木が生えぬ上に草地が位し、さらにその上には万年雪がある。従って高山岳草地では一年間四〇日しか放牧につかない。このような極端なところまで牛を追いやがて放牧につかっている。これと較べて日本は草作りに適している。また雨量は五〇〇ミリしか降らない。(岡山県南部の半分) ので山の谷川の水を引いて年五回ていど灌水を行っている。無理をして草を作り牛を飼っているが、彼等は草地の利用面積が広い。単位面積当たりの草の収量は少ないが広い面積をもつて牛を飼い、豊かな生活をしている。

日本は五七反の面積であり、これだけ全部を草地にしても、たかが知れている。しかし日本には未利用地の山林原野がある。これを本格的に利用すれば、二〇~三〇頭の飼養は不可能でない。前途洋々たるものがある。

### 草地改良の反省

草地改良の方法は抜根、耕起、碎土する開墾の方式であるが、ヨーロッパは必ずしもそうではない。ヨーロッパの山は氷河に覆われていたので山の上は表土が薄く五七一〇センチしかない。表土の下はジヤリ岩(砂礫)なのでブルトーラーを入れて草地改良ができない。牛を放牧しながら草地改良を行う間接的方法だ。土はだの出たハゲたところに牧草種子を蒔く、有害な草、雑草を取り除き施肥をする。これを繰返し行って草地改良を進めゆく。

牧草は肥料の吸収がよく、再生力が強い。草地は特に維持管理が大切である。手入れが十分行き届かぬと三年もする。日本の山は表土が深い。開墾のため大切な表土をはがしてそれに種を蒔いている。草地は特に維持管理が大切である。傾斜地の樹木は抜根をせずともよい。三年もすれば腐れてしまうものだ。八割壊った時に種を蒔く。しかし入牧牛は草が不足するので刈取った草を与えてやる。そうしないと放区内の牛がやせだが、入れっぱなしではなく、野草を七七八割喰った時に種を蒔く。しかし入牧牛は草が不足するので刈取った草を与えてやる。重放牧には黒牛、羊を入れることもある。傾斜地の樹木は抜根をせずともよい。三年もすれば腐れてしまうものだ。また豚を入れる手もある。これで短期間に草地改良が可能である。

ことは、草地をころしているといえる。肥えた表土をはがしたあとに種子を蒔くと定着が悪く、雨が降ると種子を流すことになる。表土の腐蝕土が谷間にうめられている。五七一〇年の歳月をつかい作らないと生産力がでてこない。そこでブルトーラーを入れないで牧野を作るには家畜利用をすることである。牧柵をつくりこれに牛を入れ、ジヤングル放牧

ることは、草地をころしているといえる。肥えた表土をはがしたあとに種子を蒔くと定着が悪く、雨が降ると種子を流すことになる。表土の腐蝕土が谷間にうめられている。五七一〇年の歳月をつかい作らないと生産力がでてこない。そこでブルトーラーを入れないで牧野を作るには家畜利用をすることである。牧柵をつくりこれに牛を入れ、ジヤングル放牧

だが、入れっぱなしではなく、野草を七七八割喰った時に種を蒔く。しかし入牧牛は草が不足するので刈取った草を与えてやる。重放牧には黒牛、羊を入れることもある。傾斜地の樹木は抜根をせずともよい。三年もすれば腐れてしまうものだ。また豚を入れる手もある。これで短期間に草地改良が可能である。

文責筆者

### 正しいミルカーの使用法

#### 酪農試験場だより

管などが正しく行われた場合は有効な機

械であるといえますが、取扱いが適切でないと手握りよりも牛乳の汚染度が高くなる。また乳房炎が発生しますので、ミルカーでは特に正しい取扱いが大切です。

(1) 初めてミルカーを  
装着する時

初めてミルカーを使用する場合、今まで手握りであった牛にいきなりミルカーを装着して搾乳することは、搾乳缶やティートカップがびかびか光る金属であることや、モーターや真空ポンプの日頃開き馴れない異常音などで不安感をいだかれる結果、乳量の減少、異常残乳量の発生などの原因になりますので、初めの四五日間は真空ポンプを動かして搾乳缶を牛の見える飼槽の前や牛のかたわらに置いて手握りを行い、まず真空ポンプや搾乳缶などに予め馴れさせてから初めて乳頭にティートカップを装着、本握りに入れて、使用上の注意事項を列記してみます。

ミルカーは昭和三十二年頃から一般には入り、多頭化の進んで来るにつれて、

(2) 搾乳前マッサージ  
の励行

おりますが、ミルカーによる搾乳は機械の取扱いが適正であり、洗浄、消毒、保

乳房を45°C~50°Cの温湯でよく拭

標 指導指導指導指導指導指導  
飼養經營經營經營經營經營  
価格 200円 送料45円 価格150円 送料45円

すぐれた指針の数値です

近代的な養豚経営の目安として

→ 11 P  
→ 13 P

酪農試験場だより → 10 P

## 岡山県各畜産試験場より

わが国の食生活は戦後のめざましい経済成長と国民所得の増大に伴い、從来の米麦を中心とした食生活から、乳肉、果物、そ菜等を大きく加えた食生活に移り変つており、国民の体位向上はめざましく、ことに青少年において、年々著しい成績を示しております。

この体位向上の基礎となる乳肉食品の一角を占めているのが完全栄養品の牛乳であって、本年六月の全国牛乳生産量は三一萬tに達し、前年六月に比べますと、生産量においては八・八%、飲用牛乳向一三・四%、乳製品向け等五・三%増え年々著しい増大を示しております。品質のよい新鮮な牛牛乳は、飲用牛乳や各種乳製品の品質や風味をよくし、極めて栄養の高い食料品であり、国民の栄養を改善し、一方牛乳消費の拡大にもつながってきます。

良い牛乳は新鮮、清潔で良い色と香

## (8) 乳石の除去

一度温湯で洗い乾燥保管します。  
他府県の調査によりますと、洗剤を使  
用せず水洗のみで済ませてあるもの、間  
違つて塩素剤（消毒剤）で洗うものや、  
洗剤を使用してその後水洗しないでその  
まま乾燥する等、使用法を誤るものも多  
いようですが、これでは消毒の効果があ  
がらず、またミルカーの機質をいため耐  
久性を低下させてしましますから注意が  
肝心です。

づれでもよいのですが、乾式保管の場合にはアルカリ洗浄液を通した後、もう一度温湯を通して洗剤を洗い流してから水が十分切れるようにして保管します。

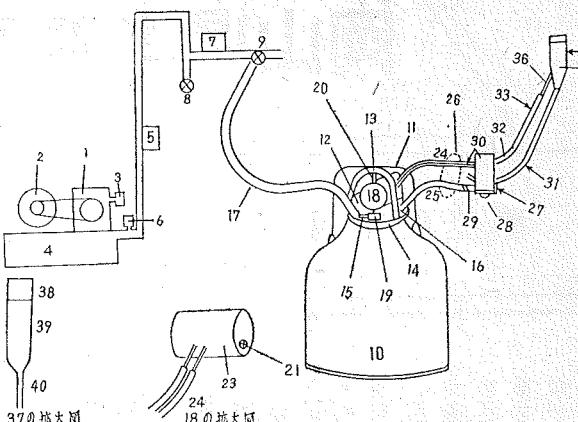
ローバルブを開き、バケツ一杯の温湯  
エアーブラッシング（搾乳缶の中に温湯  
や水を入れ、ティートカップから湯や土  
を吸いこまし、時々持ち上げ、空気を吐  
いこませる事）しながら搾乳缶に吸い込  
ませ搾乳缶をゆすいで温湯をして、桂皮  
で同量のアルカリ洗浄液をエアーブラッ  
シングしながら通しましたゆすいで、こ  
の液は他のバケツに移し後で沪過器その  
他を洗净します。

## (9) 汚染の激しい ナード洗浄法

が、牛乳の塩類や脂肪質、蛋白質が固着して乳石を作りますから、どうしても夏は四日毎に、冬は七日毎に酸性洗浄液（例えばエクリン一八号の一升液を三、六ℓの水に茶匙十杯を溶かせたもの）にミルカーを分解し数分間浸した後で、ブラシで洗浄することが必要であります。洗浄する部分は牛乳の通る道すじ全部で、まずフライナーに始まり、ミルククローラー、ミルクチューブ、搾乳缶蓋、搾乳缶を洗浄しますが、ライナーは特に汚れ易い部分ですからブラシを用いてより丁寧に洗浄し、細いパイプ類も棒ブランや金属洗矢を使用して洗浄します。

洗浄後はよく水ゆすぎをします。エクリン一八号は酸性洗剤ですから、この溶液を使用した後の水ゆすぎが不十分であると鏽やすいので特に丁寧に行い、また溶かす容器もボリエチレンなどのはうがよく、配管も年数回は内部を洗浄しなければなりません。

No.	ミルカー用語	No.	ミルカー用語
1	真空ポンプ	21	脉動数調整ネジ
2	モーター	22	逆出弁
3	消音器	23	バルセーターエアーネップル
4	真空タンク	24	二連チューブ
5	サニタリートラップ	25	ミルクチューブ
6	真空調整器	26	結束リンク
7	真空計	27	ミルククローラー
8	ドルシンバルブ	28	クローバルブ
9	エアーコソク	29	クローミルクニップル
10	搾乳缶	30	クローニューニップル
11	搾乳缶つる	31	ライナーニップル
12	搾乳缶蓋	32	クローパルスニップル
13	搾乳缶(蓋取手)	33	脉動チューブ
14	搾乳缶蓋パッキン	34	(ティートカップ)
15	搾乳缶蓋エアーニップル	35	(ティートカップ) シエル
16	搾乳缶蓋ミルクニップル	36	ツエル側管
17	エアーチューブ	37	(ティートカップ) ライナー
18	バルセーター	38	ライナー頭部
19	バルセーター台座	39	ライナー胴部
20	バルセーター固定ネジ バルセーター固定ナット	40	ライナー尾部



き そして もんてやる。  
ことは、脳下垂体から催  
乳ホルモンを多く分泌さ  
せることになり、泌乳機  
能を高め残乳を少くし、  
搾り切りもよくひいては  
乳房炎の発生も少なくな  
ります。

### (3) 摺乳前のミルキー

の消毒

消毒薬はエクリゾール、ヒコカラツックス、オーヤラックスなどの塩素剤消毒薬、二〇〇PPMの濃度、これはペケツ一杯の温湯にエクリゾールならば小瓶のキヤップ一五杯を溶かしたもので（PPMは一〇〇万分の一）、先づミルカーレ組立て、湿式の場合はミルカーレ温湯を通して、乾燥保管の場合には直ちに45°C.の消毒温湯を通して。温湯を通しますと、殺菌効果も高まり、ライナーゴムも軟化してミルカーレの機能を高めます。

(4) ストリップカツプ

ミルカー装着の前にはストリップカツブに二三回手振りをして、細菌汚染の甚だしい部分を擦り取りますが、この場合ストリップカップの黒い糊過金網または黒布に白いツブツブのものが残る場合や透明乳の場合は乳房炎の疑いがあるの

(7) 榨乳終了後の洗浄

## (7) 搾乳終了後の洗浄

---

イナーを先づアルカリ洗剤（例えはデーリークリーナーの一%液）中で三十分間煮沸します。次で冷水かぬるま湯でブラシを使つて完全に洗淨し、洗剤をきれいに洗い流し、次に酸性洗剤（例えはエクリン一八号の二・五%液）に最少限一時間浸漬放置しますが、乳石の著しいときは更に長時間浸漬します。次で十分にプランを使いながら水洗いします。

以上の方々で概ね完全に近く洗淨されますが、なお乳石が残るような場合は、再び同じ順序で洗浄を繰り返して完全を定期的に心がけます。月に一~二回定期的にライナーを煮沸洗淨すれば、ゴ

卷之三

雞の強制換羽

汚染の激しいライ

ライナーノの不完全洗浄が長く続きますと、牛乳中の脂肪、蛋白質、ミネラルと共に水の無機物なども一緒に洗い落ち、内面に固着し、乳石層を作りライナーノを硬化させ、また細菌の最適の生息場所を

(1) 換羽と産卵

四

## 養成試験場より

以上の方々で概ね完全に近く洗浄されますが、なお乳石が残るような場合は、再び同じ順序で洗浄を繰り返して完全を期するように心がけます。月に一~二回定期的にライナーを煮沸洗浄すれば、ゴ

（専技 三浦友久）  
しむかわ いろいろの技術の開拓をされ  
て、乳質改善に努力され、搾乳衛生の向上  
と乳質改善による生牛乳の生産するよう  
に致しましよう。

長くなりますが、実行していただきたい事であります。  
またライナーはでき得れば六ヶ月、長くも一年以内で更新する事が望ましいのですが、二組づつ用意して交互に使用しますと保存期間を著しく延長させる事ができます。

ムの変質を防ぐことができ、使用期間も長い。

## (7) 搾乳終了後の洗浄

---

て手振りをします

ンの分泌が減退して卵巣機能の減退を招いて休産状態となるとともに、換羽を誘発するものである。これは鶏にとっては正常な生活現象であるが、その時期と換羽のしかたは品種、系統あるいは飼養管理の良否によって異なる。

羽毛の抜け換わる順序は個体、系統、環境などによって異なるが、最初頭部からはじまり、頸、胴体、翼、尾の順で進行するのが普通型である。そして翼羽も一定の順序で換羽する。

主翼羽の換羽のしかたは大体つぎの四つのタイプに類別できる。

- 各翼羽が一枚ずつほとんど同じ日時間隔で抜けるもの。
- ある日時間隔で一度に数枚が抜けるもの。
- ある程度換羽すると、一時中止して産卵するもの。
- ②と③の混合したもの。

以上のうち、②の型を示す鶏には遅くまで産卵を続け、冬期休産期がほとんどない。多産鶏は多くの型を示す。

③の型の鶏は、普通の場合休産しない。④の混合型は冬期休産がおさえられ、多産鶏型であると考えられる。このような産卵との関係から、換羽状態は駄鶏淘汰の基準として利用されている。換羽休産は養鶏経営上極めて不利益であるから、夏から秋にかけての飼養管理に注意し、休産換羽の最大の原因になる日長時間の不足を人工的に補足（点灯法）して、換羽にかけないようにすることが大切である。

て、換羽にかけないようにすることが大切である。

## (2) 採卵鶏に対する強制換羽

### 制換羽

強制換羽は、一般に種鶏に対して実施するのが普通であるが、採卵養鶏においても、より有利な卵価期に良い卵を産みそろえたために、強制換羽を実施して休産期間を短縮し、その後の産卵に期待する場合がしばしばある。

ジョンソンらは強制換羽をした鶏の第二年度の成績を調査した。それによると図のように強制換羽を実施後、試験終了までの産卵率は、換羽群は第一回テスト43%、第二回テスト49%であるのに対し、対照区は40%および42%である。なおこれららの鶏群の第一年目の産卵率は各回とも60~61%であるので、第一年度の産卵率からみて、第二年度の産卵率も比較的すぐれていると認められ、飼料要求率、卵質についても強制換羽の効果が認められる」と報告している。

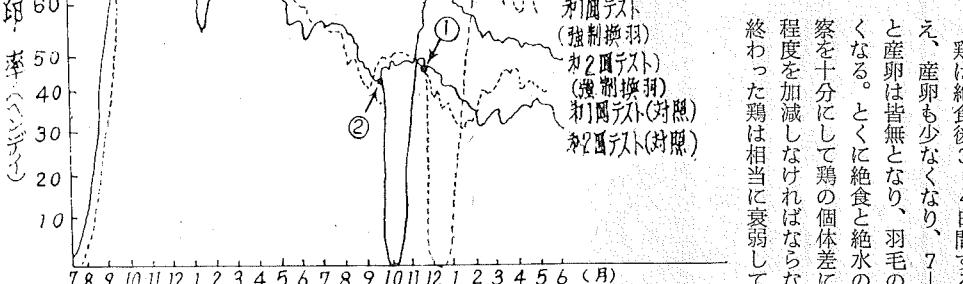
強制換羽は鶏の産卵機能への変化を促す効果を持つと共に、絶食により、体质をある程度改善することができるようである。合理的な強制換羽を実施した鶏は、回復後の健康状態は一般に良好となる傾向がみられる。

## (3) 強制換羽の方法

産卵持続中のものを、人工的に飢餓の状態に陥し入れて休産、換羽させるわけである。ケージやバタリーではそのまま断食されればよいが、平飼い鶏舎で実施するときは、敷わらや土、砂、その他採取するものを一切取り除き完全な掃除をすることが絶対に必要な条件である。

鶏は絶食後3~4日間すると元気が衰え、産卵も少なくなり、7~10日もするとと産卵は皆無となり、羽毛の脱落も著しくなる。とくに絶食と絶水の場合には観察を十分にして鶏の個体差により、その程度を加減しなければならない。絶食の終わった鶏は相当に衰弱しているため良

く少しづつ与えはじめ、徐々に増加して7~10日間で正常な状態に復帰させる。兼用種など身体の大きい鶏には絶食と絶水の時間を3~4日に延長する。



強制換羽の産卵におよぼす影響 (ジョンソン)

## 和牛試験場により

### 試験の方法

#### 放牧による若令法去勢牛の育成と肥育について

##### はじめに

農業構造改善事業が各地で進められ、肉牛を基幹作目としてとり上げられたものの中には、山地を開拓しての草地肥育が各地で行われようとしている。その草地肥育の給与方式として、青刈飼料利用方式、貯蔵飼料利用方式および放牧方式などがあるが、その収益をあげるために

は、多頭飼育にせねばならない。そうすると労力が問題となってくるので、その解決策として、最も省力的な放牧方式が考えられる。

しかし、草の生産力からみて、周年放牧は困難なので、春季の余剰生産分を貯蔵（乾草・サイレージ）して、草の生産力の落ちる夏季あるいは冬季に利用するところの混合給与方式が大切である。

わたくしたちは、昭和39~40年の2年間で、各期別の期間は、次のとおりであった。

##### (一) 試験期間

試験期間は、第一表のように区分して供試した。

##### (二) 試験区の構成

供試牛は、放牧慣行地帯の新見市および阿哲郡内産の月令7~8ヶ月の去勢牛を、第一表のように区分して供試した。

なお、仕上期には、両区2回とも5頭を閉鎖追込法で舍飼し、貯蔵飼料を給与した。

これをデーターで運搬して、ルーズバーン内の草架に投げ入れ不断給餌とした。

また、夏期の草生状態が悪くなったときには、牧乾草、稻わらを両区とも別の草架に不断給餌した。

仕上期の冬期には、牧乾草、サイレージ（どうもろこし）を両区とも不断給与した。

② 補助飼料として、濃厚飼料（産肉

第1表 試験区の構成

区分	第1年		第2年		管理給与方式
	試験区(放牧区)	対照区(舍飼区)	5頭	8頭	
			5	5	開放式追込法放牧 〃刈取給与

第2表 試験期間

年次	予備放牧期	放牧期	仕上期	計	備考
第1年(1964)	4.15~4.30(16)	5.1~11.12(196)	11.13~3.10(118)	330	( )内は日数
第2年(1965)	4.21~4.30(10)	5.1~11.9 (193)	11.10~3.16(127)	330	

検定飼料を放牧期には、体重の〇・五と

〇・七%ずなわち慣行若令肥育の給与基

準の三三・五八%に節減して、粉餌のま

ま毎朝一回給与した。仕上期には、同給

与基準の体重比一・〇と一・六%を、

朝夕二回給与した。なお、両区とも試験

期間中ロープによる採食時保定方式とし

た。

#### 四 試験供用草地

放牧利用の人工草地として、二・〇ヘクタールを第一年目は四牧区に区分し、第二年目は同一の面積のものを、八牧区に区分して、それぞれ試験区にあてた。一牧区の放牧日数は、第一回は四と二五日間隔、第二回は一牧区三日以内の輪換放牧とした。また、刈取採草利用の人工草地として、第一回は一・〇ヘクタール、第二回は一・六ヘクタールの広さのものを対照区にあてた。

#### 五 牛舎

草地の一隅をならして、杉柱を土中に埋めただけの簡単な開放式牛舎を設置した。追込牛房の広さは、両区とも第一年目は一頭当たり三・九七m<sup>2</sup>（一・二坪）、第二年目は三・三m<sup>2</sup>（一・〇坪）とした。その他の附属施設として、次のようにものを設置した。

#### 物 休憩室 管理員

三・三m<sup>2</sup>（一坪）

第3表 放牧期の増体状況 (平均) 単位 Kg

年次	区別	開始時	終了時	増体量	1日当たり増体量	変異係数 (%)
第1年	試験区	156.8	316.0	159.2	0.75	4.6
	対照区	152.2	300.8	148.6	0.70	31.4
第2年	試験区	186.0	325.7	139.7	0.72	16.7
	対照区	182.9	331.8	147.8	0.77	11.7

第4表 全期間の増体状況 単位 Kg

年次	区別	開始時	終了時	増体量	1日当たり増体量	変異係数 (%)
第1年	試験区	156.8	422.4	265.6	0.80	7.3
	対照区	152.2	407.8	255.6	0.77	12.9
第2年	試験区	180.7	437.2	256.5	0.78	12.0
	対照区	183.3	436.8	253.5	0.77	14.0

第5表 管理労働時間 (平均) 単位分秒

年次	第1年	第2年
試験区	5.57	5.16
対照区	28.32	25.43
	(15.12)	(16.08)
管理労働時間に占める割合%	(53.58)	(60.57)

注 ( ) 内は草刈労働時間数ならびにその割合

つなくなつた。  
 (四) 極めて、放牧したほうが、均整のとれたのびのびとした体型であり、それに對して、刈取給与の方は、草腹となり体の伸びが不足していた。また、両区とも肢蹄の発育は、極めて良好、強健そのもので、削蹄の必要はま

た。他の体高、胸囲、胸深およびかん幅などの発育も発育標準内の成績で、二回とも、どちらも順調であった。一般的に

その他の土間  
秤量所含む  
六・六m<sup>2</sup>（二坪）

#### 試験の結果および 考察



二回にわたる試験結果をとりまとめ、若干の考察を加えてみたい。

放牧期間中の増体状況は第三表のよう

で両区とも現在の若令肥育の増体の判定

基準でみると、第一年目、第二年目とも

増体成績は中級で、いずれも両区の間に

は、統計的に有意な差はなかった。

また、第二年目の試験では放牧した試

験区が、刈取給与の対照区に比し、第一

年目の試験試験とは逆の結果になつたの

は、放牧期間中に第一年目に比して、春

先の異常低温で草生状態が不良であった

ためと思われる。ちなみに、牛群のバラツキが第一年目が第一年目四・六%と極めて良好であったのが、一六・七%とバラツキが多くなっている。

次に、両年とも両区五頭ずつ肥育仕上

げして、全期間でみると次の第四表のとおりで、現在の若令肥育の増体判定基準

でみると、両年とも放牧して仕上肥育し

たほうが上級、それに対しても刈取給与

を一回施肥した。第二年目は、同上化成肥料を一〇アール当り九〇Kgを二回に分けて撒布し施肥した。なお、春季放牧地の余剰草を、休牧草地から順次一と二回の掃除刈を行つた。

く、増体成績は良好であったということである。

(二)

その他の体高、胸囲、胸深およびかん幅などの発育も発育標準内の成績で、二回とも、どちらも順調であった。一般的に

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七

小六農機株式会社

TEL 岡山④0307(代) 岡山市外専用 110

営業所 高梁・金川・児島

#### 牛の繁殖障害の防除に活躍する 武田の動物薬品

ウルセリン

プレナ G

合成樹脂製注入器 動物用 子宮内薬液注入器

武田薬品工業株式会社 食品事業部・畜産部



酪連だより

酪連だより



## 昭和41年度分第2回乳価回答状況

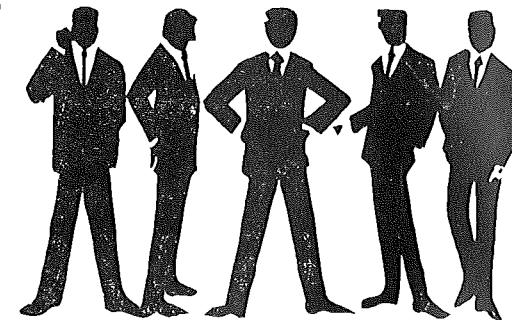
メーカー別	区分	市 乳 向 価 格	その他の価格	加工向価格	脂肪スライド	2等乳価格
明治乳業 岡山工場	1. 41/4~42/3の1ヶ年 間同一単価の場合	ローリーの場合 冷却缶送の場合	円 40.80(76.50) 円 37.04(6945)	円 31.81(59.64)	80銭(1.50)	13.00(24.38)
	2. 1ヶ年を夏、冬に 分けた場合 夏(4月~9月)	ローリーの場合 冷却缶送の場合	41.35(77.53) 40.85(76.59)	37.04(6945)	31.81(59.64)	80銭(1.50)
	冬(10月~3月)	ローリーの場合 冷却缶送の場合	40.26(75.47) 39.75(74.53)	37.04(6945)	31.81(59.64)	80銭(1.50)
						13.00(24.38)
雪印乳業 津山、水島工場	1. Aランク(4月 ~9月)	クーラーステー ションで10°C以 下にしローリー <sup>シ</sup> で運搬し得るもの	41.36(77.55)		31.81(59.44)	83銭(1.56)
	2. Bランク(4月 ~9月)	クーラーステー ションを通さな いもの	40.36(76.61)		31.81(59.64)	83銭(1.56)
	3. 冬期(10月 ~3月)	A.Bランク其 に1円10銭安	39.76(74.55)		31.81(59.64)	83銭(1.56)
	4. 年間同一単価の 場合	Aランク	40.81(76.52)			
		Bランク	40.31(75.58)			
東洋乳業			40.36(75.67)			
オハヨー 乳業	現時点では具体的な価格は提示できない、但し他社の最高の価格を最低として上積の考え方である。					
国分商店	数字は提示できないが、どの位出すかは別途協議する。					

## 洗練された都会センスの高級紳士服

舶来品と各種有名メーカー品取扱い

(岡山県畜産会推奨)

東洋紡績 KK  
御幸毛織 KK  
野村産業 KK



株式会社 鈴木物産

岡山市富町1丁目1の4 TEL 52-2391

## 組合員の利益増進のため

### 一受精・孵化率の向上を

種鶏養鶏は、採卵

の生産する卵が健康な雛になることによって目的が達成されるのです。

種鶏家にとって、せっかく生産された種卵の受精孵化率が悪かったら、経済上致命的です。種卵が正常な受精孵化率を保持することは、孵化した雛の強健性をも約束することにもなりますから、自他共に益する種鶏家の使命であると申せましょ。

受精・孵化率の向上には、育種的な要素、種鶏種卵の管理、孵化操作等の改良が必要です。特に種鶏卵の管理は最も重要な事項であり、組合員が担当する部面ですから、その改良に努力を惜しまないようお願いします。先ず、順を追つて説明しましょう。

### 育種的な要素

### 2. 中期中止卵

この期の中止卵は、その原因が機械的(孵化操作上)なるものが大部分であるといわれます。もちろん、種鶏種卵管理が万全であった場合においてです。

受精孵化率の低下には、遺伝的原因はほとんど考えられません。これらは、自然淘汰の対象となる有害形質であり、人為淘汰による選択効果も高いからです。しかし、半致死因子の存在が認められ、また、伴性致死因子の存在も疑われています。

受精孵化率の低下には、遺伝的原因はほとんど考えられません。これらは、自然淘汰の対象となる有害形質であり、人為淘汰による選択効果も高いからです。しかし、半致死因子の存在が認められ、また、伴性致死因子の存在も疑われています。

### 1. 発育中止卵の分析

発育中止卵は全部これを割卵し、その原因を究明すると共にこれを分析してその除去に努めています。この作業は、非常な効果を挙げ、数年前に比較すると格段に中止卵が減少しました。

三ヶ月目、気室の膜に胚が固着し、血管の破裂したものがみられます。原因不明ですが、個体淘汰によって大幅に減少しました。

### 種鶏種卵の管理

種鶏の管理は、主として受精率に大きく関与し、種卵管理の良否は、孵化率に非常に大きな関係があります。

受精率は、もちろん雌や雌雄の組み合いで、季節的な特に雄に対する管理、雄の栄養、雄の日齢、配雄方法の適否等、種雄の影響が大きく、むしろ授精率で表現する方が適当かも判りません。しかし、種卵管理の適否は、せっかく受精している種卵が、健康な雛になるか、あたら発育中止卵になるかの別れ目です。もちろん、受精以前の問題、例えば飼料、卵殻卵質の良否等に影響されることも少なくありません。しかし、何といっても種卵の取扱いを含めた管理に最も深い関係があります。例えば集卵時間、集卵回数、産卵場所、貯卵場所、運搬方法等、いずれも季節と温度、光による管理に微妙な差があります。また、鶏舎と種鶏の衛生管理も、直接間接に種卵管理と深い関係があります。

これらについて、次号で詳しい説明をする予定ですが、要するに、受精孵化率の向上が、もっともっとと究明されなければならぬと思います。

**養鶏農協**

だより

### 3. 後期中止卵(死卵)

形態的生理的な異状(畸型)を発見した場合は、その種卵を産んだ種鶏を淘汰し、姉妹鶏の一部にもそれが発見された場合は、兄弟姉妹鶏全部を淘汰します。発生した雛の性別を、種鶏個体別に調査し、雌雄のバランスが採れていない場合はその種鶏は繁殖群より除去すると共に、その雛は育成しません。

籠死の原因で最も多かったのは、雛の位置不整による卵内窒息です。これも、漸次改善されつつあります。

(本)(誌)(予)(約)(申)(込)(要)(領)
誌代 一部 五十円(送料共)
年間予約六百円(送料共)
但し一部購入の場合は増貢号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増貢特集号の分も一部五十円のサービス価格とす。

集団申込の特典  
十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に割引きます。但しこの場合一括購読です。但しこの場合前金を建前としておりません。

### 申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所

氏名記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としておりません。

申込先  
岡山市桑田町一丁目一番地  
社団法人岡山県畜産会管理普及課  
(電話岡山22-18575番  
(口座番号)岡山八五七五番

岡山畜産便り(十一月号)  
第十七卷 第九号  
(通巻第百七十一号)  
昭和四十一年十月一日 発行

発行所 岡山市桑田町一の二  
印刷所 岡山市桑田町一の二  
振替 岡山市桑田町一の二  
電話岡山22-18575番  
二丁目五番二三号  
西尾総合印刷株式会社

定価 一部 五十円(送料共)